

オーキッドだより

VOL.37

朝晩の冷え込みが日に日に厳しくなってきました。日も短くなり今年も残りわずかです。

10月19日(月)より面会制限が一部解除になり面会を希望される方は事前の予約をして頂いています。先に予約が入ってる場合は面会希望でもご希望の時間帯に面会できない場合もございます。ご不便をおかけしていますがいつもご理解、ご協力に感謝しています。

10月は生もの解禁の月となり、食欲の秋、ユニットでは食事レクレーションで職員がお寿司をにぎり、いつもの食事レクレーションとは違った感じで利用者様はいつも以上に沢山食べられ笑がこぼれ楽しんでおられました。職員一同まだまだ利用者様に笑顔になってもらえるような企画を考えていきます。

photoalbum こもれび 利用者様の日常をお届けします









天ぷら



今年のお月さまは、 とても綺麗でした







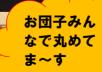














米寿おめでとうご





マメ知識情報!

食欲の秋にちなんで・・・

『ステーキハウス症候群』

救急外来の先生のお話です。

ある日、突然の胸の痛みを訴える50歳代の患者さんが運ばれてきました。

食後に胸の痛みを訴え、苦しがっておられるのですが、しっかり発語され、バイタルサインも安定していました。

しかし冷や汗をかいて少し不穏もあったので心電図やレントゲン、血液検査を行いましたが、特に大きな問題になることはありませんでした。

どうしたものかと胸のCTを撮ってみたところ、食道に大きな腫瘍のような影が! よく聞くと、夕食は大好物のステーキで、かなり急いで食べたとのこと。 水を飲んでもらっても改善されず、無理やり内視鏡で胃に押し込んだら、嘘のようにすっきりと症状が消えて歩いてお帰りになりました。

これには、steakhouse syndrome(ステーキハウス症候群)という立派な名前がついていて、急いで食事をした後、食道に食べ物がひっかかった状態のことを言います。 米国での俗称で、ステーキをほとんど噛まずに飲み込んで詰まってしまうことからこの名

米国での俗称で、ステーキをほとんど噛ますに飲み込んで詰まってしまっことからこの名前がついており、胸の骨の後ろに痛みを訴えることがあるため、急性心筋梗塞と紛らわしいことがあります。

実は、胸痛を訴えて救急外来を受診する患者の半分近くは、胸の骨付近の問題ではないか というような論文もあります。

突然に調子が悪くなった時に、直前までの何をしていたのかをしっかり覚えておくのは、

重要かも知れませんね。

